

- ・症例検討会とは、道路橋、トンネル等において地域の様々な症例(実態)のナレッジ(知見、知識)を共有していくことにより、道路施設管理職員の技術力向上や今後のマネジメント(維持管理)等へ展開される事を目的とする。
- ・自治体管理の橋梁におけるコンクリート橋の診断・補修、補強材の腐食に対する補修工法及び橋台の洗堀における判定等の症例について助言等を頂いた。

参加者: 大分工業高等専門学校 <sup>いちみや</sup> 一宮教授、<sup>やまもと</sup> 山本准教授 場所: 大分河川国道事務所

## ●TEC-FORCEアドバイザーによる症例検討会での助言(令和7年8月28日)



出席者

- ・有識者：大分工業高等専門学校 一宮一夫教授、山本大介准教授
- ・会長：大分河川国道事務所 総括保全対策官
- ・副会長：佐伯河川国道事務所 技術副所長、大分高速道路事務所 副所長、大分県土木建築部道路保全課 参事(総括)
- ・委員：大分市、別府市、中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、豊後大野市、由布市、国東市、姫島村、日出町、九重町、玖珠町
- ・オブザーバー：九州地方整備局 道路部、九州道路メンテナンスセンター、企画部、テックシニアーズ、(公財)大分県建設技術センター